

三中だより

令和6年度 3月号



令和7年3月13日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 14)
校長 小柴 憲一

「ローポインターへの無駄な配慮はするな」と言えるのは
共生社会にあってはあくまでも理想ではあるが……

先日、ドキュメンタリー番組で日本の車いすラグビーチームがパリオリンピック・パラリンピックで金メダルを獲得するまでに起きた様々なできごとを描いていました。

その中で、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、アメリカからコーチを招聘しチーム力を向上させていくときに、コーチが選手に対して「ローポインターへの無駄な配慮はするな」と指示したという場面がありました。

車いすラグビーのチームは4人で構成されており、障がいの程度が軽いハイポインターと障がいの程度が重いローポインターが混在しています。通常、ハイポインターはスピードが速く得点を取りに行ったり、直ぐにディフェンスに加わったりとコートを広く使う役割があり、ローポインターはスピードがあまり速くない分、特にディフェンスにおいて相手チームのハイポインターの進路を妨害したり、狭くしたりする役割があります。また、攻撃するに当たっては、ハイポインターがローポインターにパスを出して、その間にもう一人のハイポインターが素早く前進してローポインターからパスを受けるというプレーも見られます。

つまり、ハイポインター、ローポインターそれぞれに役割はありますが、その役割の範囲で力を発揮するとともに、互いのコンビネーションによって守備や攻撃をする必要があるのが車いすラグビーなのです。

「ローポインターへの無駄な配慮はするな」という指示は、障がいの程度が重い選手に無駄な配慮はするなということであり、その言葉を聞いたとき私は一瞬どきっとしました。障がいのある方への配慮や、同じ障がいのある者同士でも障がいの程度の軽い方は重い方への配慮をするのが当然だろうと思っていたからです。

しかし番組では、その後ハイポインターの選手がコーチの指示を聞いて、「確かにこんな早いパスではとれないだろうと思って緩いパスを出して相手にパスカットされたり、多分あのローポインターの選手では相手のハイポインターの選手を止めることはできないだろうと思って、ローポインターの選手を信じず自分一人でコート内を動き回ったりしていた」と自分自身を振り返ったのです。そしてその後は、相手がローポインターの選手だとしても早いパスを出したり、ローポインターの選手が相手のハイポインターの選手の進路を狭くしてくれることを信じて、その先に回ってディフェンスに加わるようになっていくようになりました。また、ローポインターの選手も自分の責任を果たそうと早いボールでも取れるような練習をしたり、できるだけ早く回転して移動したいところに動ける練習をしたりするようになりました。その結果、チームの組織力が上がり成績も良くなっていきました。つまり、コーチの指示「ローポインターへの無駄な配慮はするな」は日本チームが強くなっていく原動力になったということなのです。

しかし、私は思いました。これができたのは、互いの障がいへの卓越した理解とチームとしての強い信頼関係があったから成功したのだと。様々な人が共存する共生社会では、やはり障がいの状況や程度に応じた配慮をすることが根底であると。

確かに、学校教育においても、認知に偏りがあるなどして、片付けることが苦手であったり、自ら他人に働きかけることが苦痛であったり、大勢に注目される場面に抵抗を感じていたりなど、何らかの困難を抱えている子どもに関して、自立できるようになることを目標に指導をしています。しかしそこには、困難を少しでも乗り越えるように配慮をしながら自己肯定感を高めるような成功体験を味わわせるようにしているのが実態です。

私は教職員に、片付けが苦手な子どもに単に「片付けなさい」と指導することや、他人に働きか

けることに苦痛を感じている子どもに「自分でできるようになりなさい」と指示することや、大勢に注目される場面に抵抗を感じている子どもに授業中突然指名して発表させることなどは、例えば事故で足を切断せざるを得なくなって人生に絶望感をもった方がようやく義足をつけて歩こうとしたときに、「100mを14秒台で走りなさい」と言うことと同じであると言ったことがあります。「これはここに片付けましょう。次にこれはどこに片付けたらいいかな」と丁寧に指導したり、「先生も一緒に行ってあげるから、〇〇さんに話してみようか」と一緒に行動してあげたり、「今日はこの発表が〇番目にあるけどできるかな」と事前に知らせておいたりするなどの配慮が必要だとも話しました。

仮に認知の偏りや何らかの障がいにより、特定のことに困難を抱えている子どもが、その困難を乗り越えられたとしたのならば、自立した本人の努力を認めてあげて、そこからは無駄な配慮はしないということはあるかもしれませんし、それは確かに理想です。しかし、私たちが生活している共生社会においては「障がいのある方や障がいの程度が重い方への無駄な配慮はするな」と言ってしまったら、そもそも障がいへの理解をしようとする努力までもが失われて危険なことになるのではないかと思います。

あくまでも、日本車いすラグビーチーム内の固い結束の中でだからこそ成功を収められた事例であると思わなければなりません。

保護者負担の軽減 ー 来年度予算案 ー

1月31日に荒川区長が来年度予算案について記者会見を行いました。

その筆頭で、「区立小中学校、特別支援学校に通う児童生徒の保護者負担を軽減」として、①学校徴収金で各学校が購入している一部の補助教材費用、②遠足等にかかる参加費用、③宿泊行事の参加費用(修学旅行・移動教室・臨海学園)、④卒業アルバムの購入費用について公費補助を実施すると発表がありました。

つきましては、今年度まで保護者様から「教材費等の納入」として毎月15日に口座より一定額を引き落とさせていただいておりましたが、来年度からはPTA会費を除いてなくなることが想定されます。また、新3年生(現2年生)の保護者の皆様に積み立てていただいております、修学旅行費用と卒業アルバム購入費用につきましては、何らかの手段により返金となります。ただし、その際に振込手数料を差し引いた額になることもあり得るということはあらかじめご了承ください。なお、今年度の残金は、いずれの学年も繰り越すことなく、返金処理をさせていただきます。

詳しくは、21日(金)の保護者会及び来年度になりましてからご案内いたします。

荒川区教育委員会褒賞

荒川区教育委員会褒賞は「教育、文化に関する行事や大会において、表彰を受ける等をして荒川区の名を高め、教育に大きな影響を与えた生徒に贈られる賞」です。

本校からは以下の子どもたちが受賞しました。

年	氏名	内 容
1	バログン イズミ	①JOCジュニアオリンピックカップ U16陸上競技大会 女子150m 8位 ②全日本中学校陸上競技東京都大会 女子1年100m 1位 ③東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会 女子共通200m 1位 ④東京都中学校総合体育大会 女子1年100m 1位
3	宇田 華都	①全国中学生人権作文コンテスト東京都大会 最優秀賞 ②全国中学生人権作文コンテスト中央大会 奨励賞
2	城崎 千寧	図書館を使った調べる学習コンクール(全国) 奨励賞
3	杵島 希	図書館を使った調べる学習コンクール(全国) 奨励賞
3	湯浅 梨央	図書館を使った調べる学習コンクール(全国) 奨励賞

3年生 各種表彰受賞生徒

●東京都体育優良生徒					
体育的活動において、日常的に努力し、自己の力を大いに伸長させ、学力、人物的にも優秀と認められた生徒に贈られる賞					
今福 康介	杵島 輝				
●東京都体育努力生徒					
体育・スポーツを愛好し、平素から熱心に実行し、体育的見地から学級の模範となった生徒に贈られる賞					
中島 有彩					
●中学校優良卒業生					
学習に対する意欲と成果があり、卒業後の進路に目的をもって意欲的に取り組んでいる生徒に贈られる賞					
丸谷 周	湯浅 梨央				
●東京都青少年赤十字メンバー功労表彰					
在学中の青少年赤十字活動において、特に顕著な功労や成果を上げた生徒に贈られる賞					
竹内 春花	伊藤 舞帆				
●荒川区教育委員会奨励賞【努力賞】					
2年以上の長期にわたって、学習活動、スポーツ活動、文化活動等の活動に継続的に取り組み、又は自己を鍛え、その努力の成果が顕著であり、授賞をすることを通して他の生徒の意欲の向上につながると認められた者に贈られる賞					
澁谷 厚ノ輔	山口 玲菜	鈴木 優実			
●荒川区教育委員会奨励賞【精勤賞】候補者 <2月28日現在>					
3年間で欠席日数5日以内の生徒に贈られる賞					
朝日 心菜	阿部 大斗	伊藤 あかり	大越 響心	風間 琉聖	杵島 希
佐□ 宏吉	澁谷 厚ノ輔	竹内 春花	土田 瑛太	長谷川 綺香	水谷 亜美華
諸岡 遥斗	薬師寺 沙耶	矢合 潤成	山崎 嗣生	渡辺 那由	荒巻 大和
今福 康介	川村 緋未佳	木村 碧良	桑原 希	小松 晴	下野 紗和
水藤 雪峰	中野 陽来	早川 涼太	廣橋 拓海	山口 玲菜	山田 舜介
和氣 仁香	植松 郁喜	大ヶ谷 萌香	大森 藤子	加島 彩花	片倉 湊智
河上 莉子	木村 駿仁	小林 佑光	酒井 希美	佐々木 友花	佐藤 要
田中 佑花	鄭 熙才	中尾 柑椰	本間 祐介	的場 一真	池内 凱
石井 湊大	柄澤 怜花	木下 心愛	久保 俊太	近藤 雅大	平 優人
鶴田 琉生	成島 海斗	原 陽音	細野 桃花	丸山 莉子	三森 心渚
村永 未来	湯浅 梨央	和田 安粋	渡辺 麻由	渡部 大雅	

3年生の上級学校出願先

1・2年生の保護者の皆様のためにも、情報の一つとして、今年の3年生の出願先を紹介いたします。これは、あくまでも出願先であり合格校・進学校にしぼったわけではありません。また、これ

らの中には、出願はしましたが受験前に第1志望校に合格して受験を辞退した学校も含まれています。

なお、順番は五十音順で、名称は「高等学校」を省略するなど、略称としております。また、以下は3月6日(木)時点の情報です。

●公立

青井、青山、浅草、足立、足立新田、足立西、荒川工科、江戸川、王子総合、小台橋、お茶の水女子大学附属、北園、工芸、江北、小松川、産業技術高等専門、忍岡、城東、新宿、新宿山吹、墨田川、第一商業、竹台、竹早、千早、筑波大附属、豊島、戸山、日本橋、晴海総合、東、光丘、深川、本所、三田、南葛飾、向丘、紅葉川

●私立

青山ビューティー学院、飛鳥未来きずな、足立学園、郁文館、市川、岩倉、上野学園、SDH昭和第一学園、江戸川学園取手、品川エトワール女子、N、大森学園、開成、開智、川村、関東第一、北豊島、共栄学園、錦城学園、クラーク記念国際、慶應義塾、慶應義塾志木、慶應義塾女子、京華女子、KG、国府台女子学院、國學院、駒込、駒澤大学、栄東、桜丘、実践学園、品川翔英、芝浦工業大学柏、芝浦工業大学附属、渋谷教育学園幕張、修徳、十文字、淑徳巣鴨、順天、潤徳女子、城北、巣鴨、駿台学園、正則、正則学園、成立学園、専修大学松戸、第一学院、瀧野川女子学園、中央学院大学中央、中央大学、中央大学杉並、中央大学附属、中央大学附属横浜、土浦日本大学、東海大学付属高輪台、東京家政大学附属女子、東京成徳大学、東京電機大学、東京文理学院、桐光学園、東洋、東洋大学京北、豊島学院、獨協埼玉、中村、二松学舎大学附属、日本大学第一、日本大学第二、日本大学鶴ヶ丘、野田鎌田学園杉並、文京学院大学女子、法政大学、法政大学国際、法政大学第二、豊南、朋優学院、堀越、松本国際、武蔵野、武蔵野大学附属千代田高等学校、明治学院、明治大学付属中野、明治大学付属明治、矢板中央、安田学園、立教新座、立志舎、麗澤、早稲田実業、早稲田大学高等学院、早稲田大学本庄、和洋九段女子

お知らせ

●女子バレーボール冬季大会において、以下の成績を収めました。

第3位

●荒川地区ダンロップカップソフトテニス大会において、以下の成績を収めました。

女子団体戦 I 部リーグ 第3位

●3月9日(日)に実施された「汐入町会・三中合同防災訓練」ボランティアに、以下の子どもたちが応募しました。

1年 掛川 大輝、河野上 大嘉、高橋 優希、石井 諒佑、桑田 昊空、児玉 こまち、濱田 るり花、渡部 綾、池田 芽未、近藤 希

2年 上田 琴華、佐藤 咲月、並木 苺衣、飯野 愛麻、桐山 頼人、倉田 一慶、城崎 千寧、廣中 理一、深澤 宏杜、毛利 右京

●3月14日(金)・15日(土)に実施される汐入ふれあい館主催の「親子で防災 段ボールキャンプ」のボランティアに、以下の子どもたちが応募しました。

1年 林 亜美佳、梅木 琉衣、今井 葉菜、高屋 沙奈

◎御礼

今年度も、本校の教育活動に、保護者の皆様・地域の皆様からのご理解をいただき、誠に感謝申し上げます。特に、PTA役員、ボランティアでお手伝いしていただいた保護者の皆様におかれましては、お仕事がある中、多大なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。